

はじめかたガイド

最初の1週間

導入した施設の管理者・支援員のみなさまへ / 2026年7月版

1週間で「観察 → 確認 → 保護者に届く」が1周します。特別な準備はいりません。施設全体に一斉展開しようとするとは重くなるので、まず1人ずつ。管理者1人・支援員1人・お子さま1人・保護者1人で回します。全職員研修は必要ありません。

管理者の方

準備と、届け方

施設・お子さまの登録、記録の確認、保護者への招待コードのお渡し。

→ Day 1・3・5をお読みください

支援員の方

その日の記録

その日の気づきをひとこと残すだけ。1回3分ほどで終わります。

→ Day 2・4をお読みください



Day 1

はじめる

施設とお子さま1人を登録し、支援員1人を招く

15分・管理者

1

アプリをダウンロード → Googleでログイン → 「管理者」で施設を登録

施設名を入力するだけです。

2

お子さまを1人だけ登録

お名前はひらがなで。／続けて支援員を1人だけ招く（同じ施設を選んで参加してもらいます）。

まず1人ずつで大丈夫です。増やすのは、いつでもできます。



Day 2

話してみる

その日の様子を、ひとこと話すだけ

3分・支援員

- ✓ ホームの記録ボタンから、その日の様子をひとこと話すだけ。
- ✓ AIがそっと一つ問い返します。答えると、記録が深まります。
- ✓ できあがった記録は、タップして何度でも直せます。



Day 3

保護者に届ける

保護者にはじめて届く日

1

支援員の記録を確認して、確定します

10分ほど・管理者の作業です。

2

はじめて確定したとき「この記録、保護者に届けますか？」が出ます

3

「保護者を招待する」から招待コード（XXXX-XXXX）を発行し、保護者お一人に渡します

保護者がアプリでコードを入力すると、その日から記録が届きます。施設選択もお名前入力も不要です。

❗ Day 3・コードを渡す前に、必ず

保護者向け同意書（書面）の取得が完了してから、コードをお渡しください。（アプリの発行画面にも表示されます）

- お子さまお一人につき、コードは1つです。
- 一度使うと、そのコードは無効になります。父・母それぞれのアカウントが必要な場合は、コードを2回発行して1枚ずつお渡しください。
- 有効期限は30日です。切れたらいつでも再発行できます。
- 再発行すると、前のコードは使えなくなります。お渡し済みの紙は破棄してください。

ここで、保護者に「その日の姿」が初めて届きます。これが、このアプリの中心です。



Day 4

つづける

具体的な一場面を、一つ

3分・支援員

- ✓ 具体的な一場面を一つ。完璧に書こうとしないでください。
- ✓ 音声が使にくい場面では、テキスト入力でも大丈夫です。



Day 5

ふりかえる

1週間の記録が、そのまま積み上がっています

10分・管理者

- ✓ 1週間の記録をふりかえります。記録がそのまま積み上がっています。
- ✓ ここまでで「観察 → 確認 → 保護者に届く」が1周しています。
- ✓ うまくいったら、お子さま・支援員を1人ずつ増やしてみてください。

❗ つまづいたら

- お名前はひらがなで登録してください。
- 記録はその日のうちに。印象が新しいほど具体的に残せます。
- 招待コードが使えないときは、期限切れ（30日）かも。再発行できます。

⊗ 困ったときは

- 施設の管理者、または南方教育研究所合同会社まで。
- メールで24時間以内にお返しします。

 最後に

主役は、先生と子どもです。AIは黒子として、先生が「その子をよく観る」ことをそっと助けます。
まずは今日、ひとことから。